

家計・くらしの調査
年次報告書
2023

2024年8月
日本生活協同組合連合会
政策企画室

もくじ

はじめに	．．．．P	2
1.モニター属性	．．．．P	3
2.収入・支出	．．．．P	4
3.電気・ガスの料金	．．．．P	11
4.消費税しらべ	．．．．P	13
5.モニターの声	．．．．P	14
6.集計表	．．．．P	17
7.調査票	．．．．P	18

はじめに

この調査は、1978年「生協の家計簿」発行以来継続してきた「全国生計費調査」の流れを汲みつつ、2018年1月よりインターネットでの回答に限定して調査を実施しています。2023年は調査をインターネット化して6年目の年となります。

2023年の調査では1,200名を超える組合員にモニター登録いただきました。うち新規で登録いただいた方は126名でした。登録モニターには毎月1回、前月分の収入や支出を費目ごとにWebページに入力し、データを日本生協連へ直接送信いただいています。

2023年は5月に新型コロナウイルス感染症が5類へと移行され、外出する機会も増えました。また、年間を通じて物価が上昇し、実質賃金は目減りするなど、厳しいくらしが続きました。世界では、ロシアによるウクライナへの侵攻に加え、新たにイスラエルとパレスチナ・ガザ地区における紛争が起きるなど国際平和の危機が高まり、世界的に不安定な情勢となりました。

2024年は一部の企業において賃金上昇がみられましたが、それを上回る勢いで物価の上昇が続く、円安ドル高の傾向も長期化するなど、私たちのくらしを取り巻く環境はさらに厳しさを増すことが予想されます。

引き続き、「家計・くらしの調査」を通じて皆さまと共にくらしの変化を捉え、社会に発信してまいります。今後とも一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【本調査の概要】

1.集計対象

2023年1月から12月まで連続提出いただいた方のデータ895件（有効回答）

2.2023年の特徴

食費や住居費、自動車費など生活の基盤となる多くの費目で支出が増加し、2023年の年間収支は、昨年よりも全体で119,480円減少しました。特に「その他収入」を除いた年収700万円未満世帯層における年間収支のマイナス幅は大きく、赤字となりました。

(1)収入・支出

2022年からの継続モニター世帯の収入の月額平均は590,538円で、給与世帯の平均収入は昨年より2%増加した一方、年金世帯では昨年より1%減少しており、よりくらしの厳しさが増していることがうかがえました。支出の月額平均は369,961円で、昨年より12,949円増加しました。この結果、年間収支は昨年より119,480円減少しました。（p4～10参照）

(2)光熱費

電気・ガスをあわせた光熱費は、1～3月の冬場に大きく増加しましたが、政府による補助もあり、4月以降の支出額は前年より減少しました。一方、一昨年（2021年）と比べると、9月を除いて増加傾向にありました。（p11～12参照）

(3)税・社会保障

消費税の負担額・負担割合は、物価の上昇に伴い増加しました。また、消費税を除く税・社会保障料の負担割合が、50代以下で上昇しました。（p8、13参照）

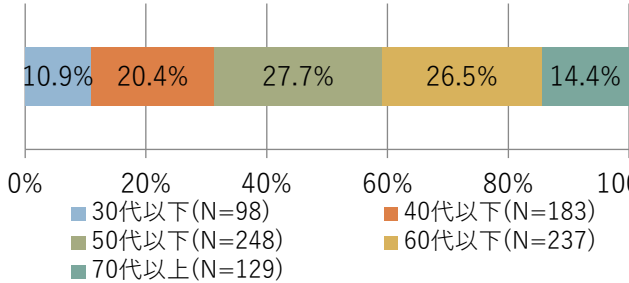
(4)登録モニターの声

モニターからのコメントは、年間で2,828件寄せられました。新型コロナウイルス感染症が5類になったことにより外出や旅行の機会が増えたことや、物価上昇に伴った食品、日用品、医療費などの支出の増加に関する声などが寄せられました。（p14～16参照）

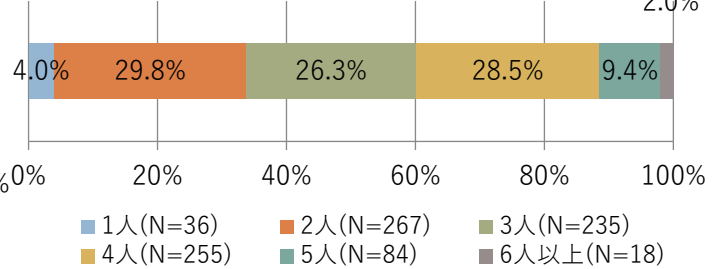
1. モニター属性

世帯構成は2人家族が29.8%と最も多く、4人家族、3人家族と続きました(図2)。子どもの人数は0人が33.7%と最も多く、2人、1人と続きました(図3)。世帯の主な収入は75.8%が「給与」からとなり、「年金」は22.3%でした(図4)。住居形態は戸建(持家)の割合が67.7%と最も多く(図5)、生協の利用業態は宅配が47.9%と多くなっています(図7)。

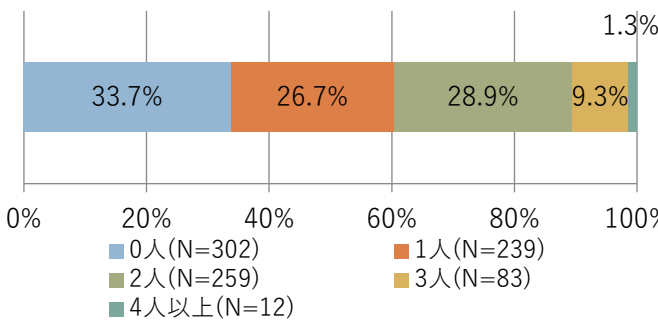
〔図1〕世帯主の年代



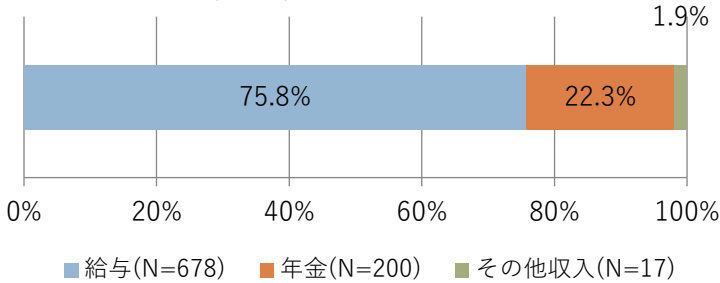
〔図2〕世帯構成



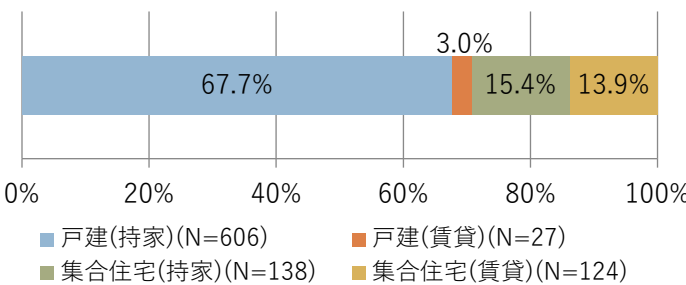
〔図3〕子どもの人数



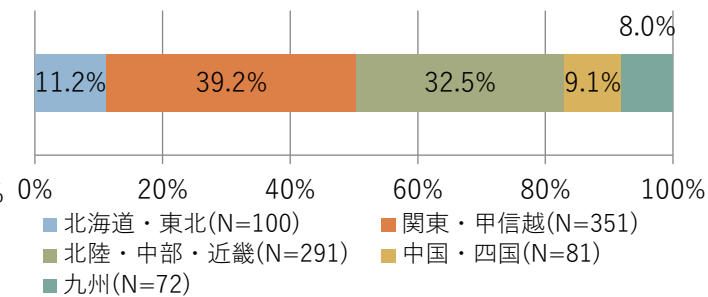
〔図4〕世帯の主な収入



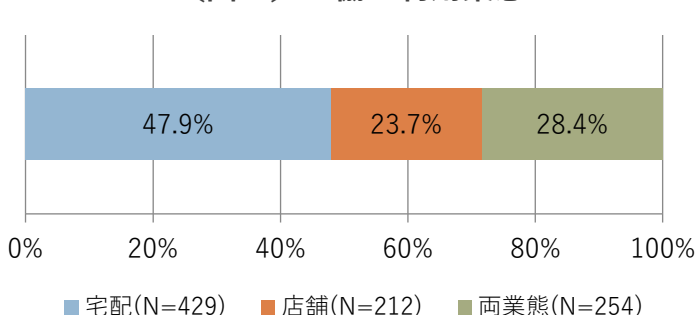
〔図5〕住居形態



〔図6〕地域別状況



〔図7〕生協の利用業態



〔表1〕都道府県別エリア一覧

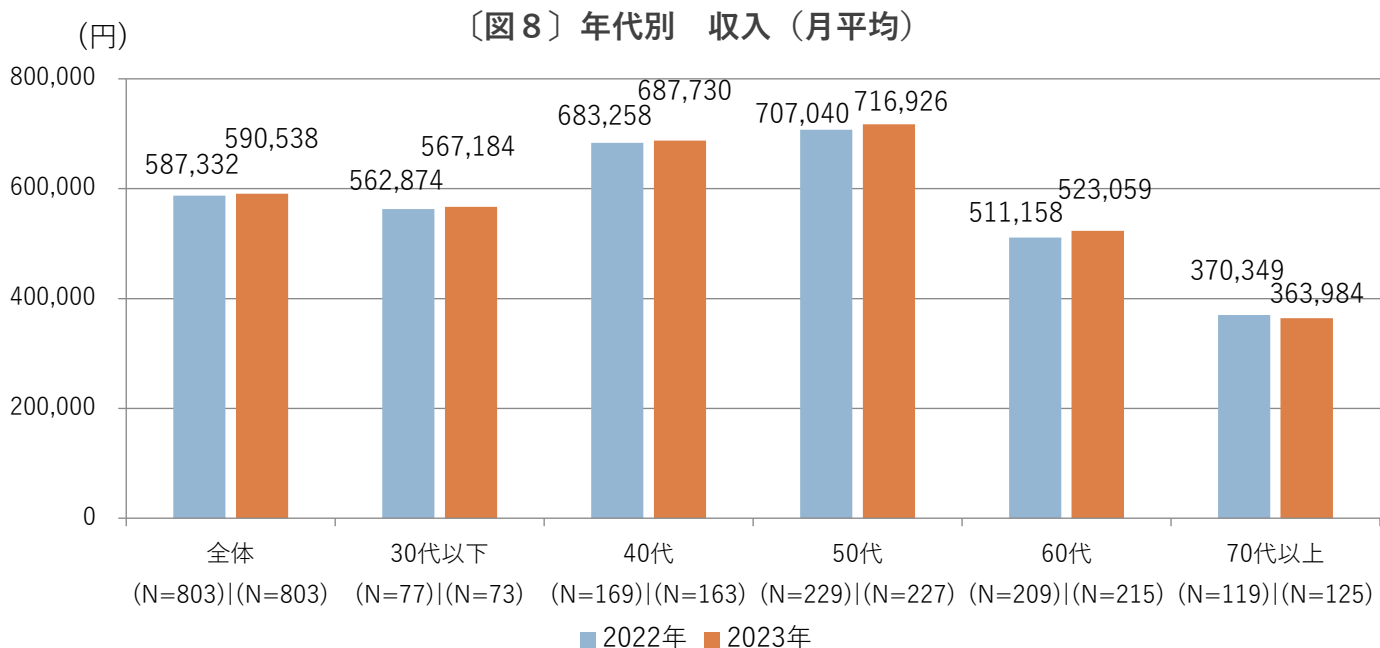
北海道・東北	北海道・青森県・岩手県・秋田県・宮城県・山形県・福島県
関東・甲信越	茨城県・群馬県・栃木県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・静岡県・山梨県・長野県・新潟県
北陸・中部・近畿	富山県・石川県・福井県・愛知県・岐阜県・三重県・滋賀県・京都府・奈良県・和歌山県・大阪府・兵庫県
中国・四国	岡山県・広島県・鳥取県・島根県・山口県・香川県・徳島県・愛媛県・高知県
九州	福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

2. 収入・支出

①収入

2022年からの継続モニターの2023年の収入を、2022年と比較しました（図8）。収入の全体における月平均は590,538円で、昨年より3,206円高い結果となりました。年代別にみると、30～60代の収入は昨年を上回り、特に50代の上昇額は9,886円と最も多くなりました。一方で、70代以上の収入は6,365円下がりました。主な収入別をみると、給与世帯では平均で2%程度収入が上昇しましたが、年金世帯は平均で1%程度下がりました。また、給与世帯・年金世帯とも「世帯主」の収入が増えた一方、「世帯主の配偶者」の収入が減少する傾向がみられました（表2）。

※収入月額平均は、年収を12ヵ月で割った金額です。



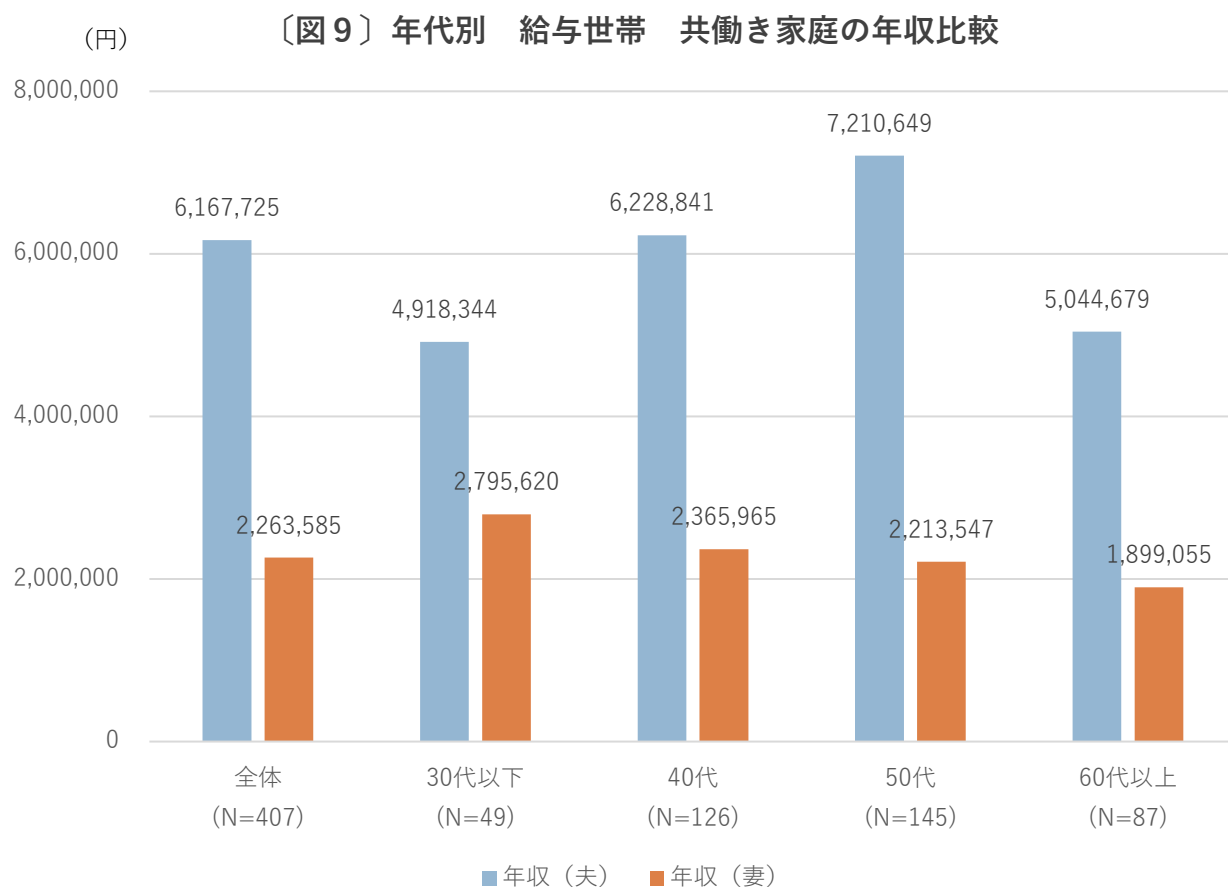
〔表2〕主な収入別 収入（月額平均）・前年比

		収入計	給料 (世帯主)	給料 (世帯主の 配偶者)	賞与 (世帯主)	賞与 (世帯主の 配偶者)	年金 (世帯主)	年金 (世帯主の 配偶者)	その他
		月平均金額 (円)	前年比増減率 (%)	月平均金額 (円)	前年比増減率 (%)	月平均金額 (円)	前年比増減率 (%)	月平均金額 (円)	前年比増減率 (%)
全体	月平均金額 (円)	590,538	312,165	76,969	67,819	11,244	64,795	18,012	39,533
	前年比増減率 (%)	1%	4%	-15%	4%	-17%	18%	-20%	-3%
給与世帯	月平均金額 (円)	675,183	412,388	98,078	91,009	14,933	20,246	4,838	33,691
	前年比増減率 (%)	2%	5%	-14%	5%	-15%	27%	11%	2%
年金世帯	月平均金額 (円)	348,974	21,710	16,059	660	571	206,125	59,640	44,209
	前年比増減率 (%)	-1%	25%	-16%	39%	-42%	14%	-27%	-13%

※「全体」の内訳は、「主な収入が給料の世帯（給与世帯）」「主な収入が年金の世帯（年金世帯）」「主な収入が給料・年金以外の世帯（その他）」と3世帯に分かれます。上表には、給与世帯と年金世帯のみ掲載しています。

さらに、2022年からの継続モニターの給与世帯において、世帯主とその配偶者（夫婦）※ともに働く世帯（正規雇用・非正規雇用含む、年収10万円以上）を年代別にみると、40代以上では夫の年収が妻の年収の倍以上になっており、50代では3倍以上の差がみられ、30～50代では夫の年収が増加する一方で妻の年収は減少しています（図9）。

※2023年の調査より、「夫・妻」の表現を、「世帯主・世帯主の配偶者」に変更しています。
ここでは、世帯主の性別や家族人数などから、夫や妻として抽出し、分析しています。

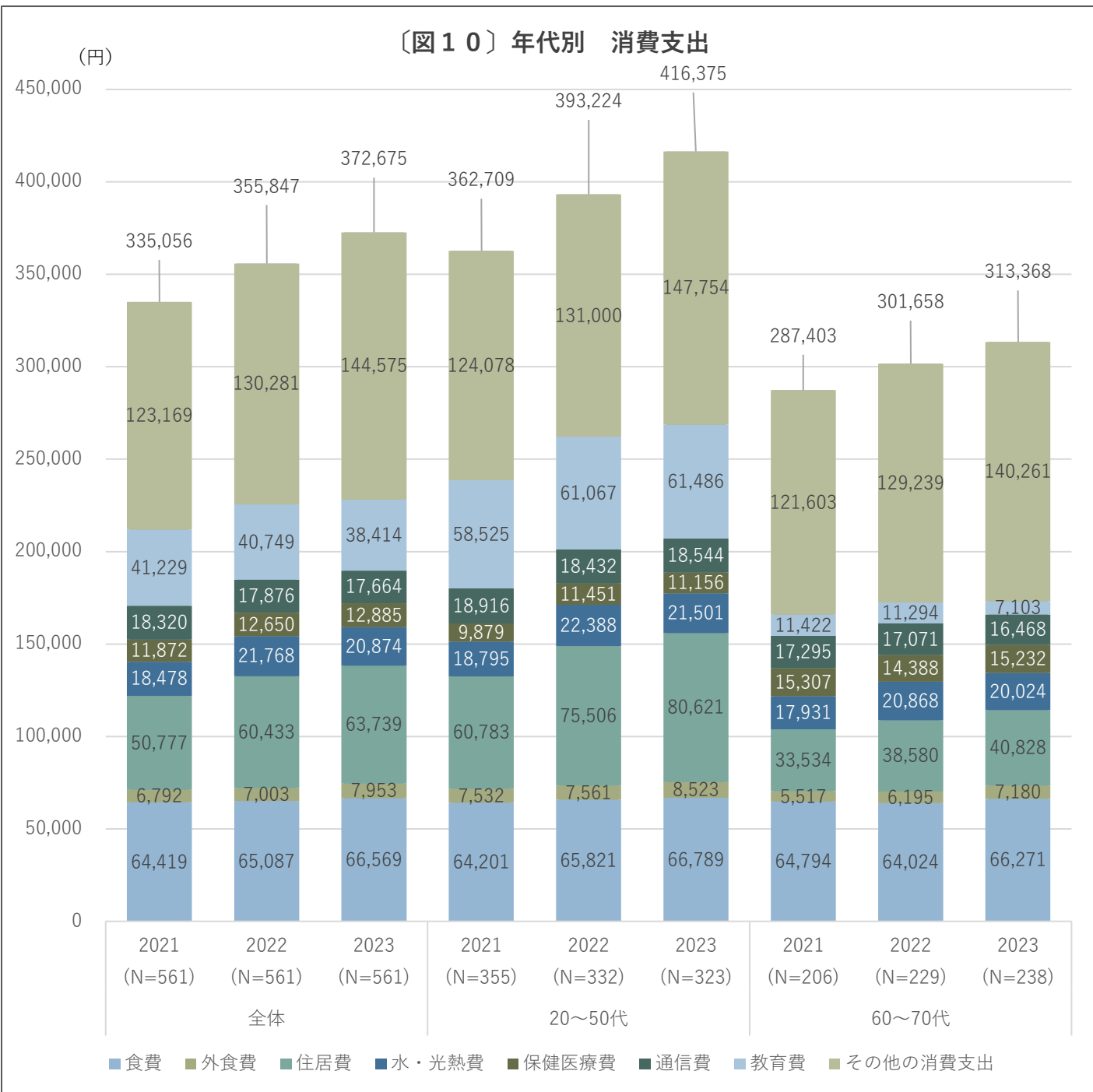


②支出

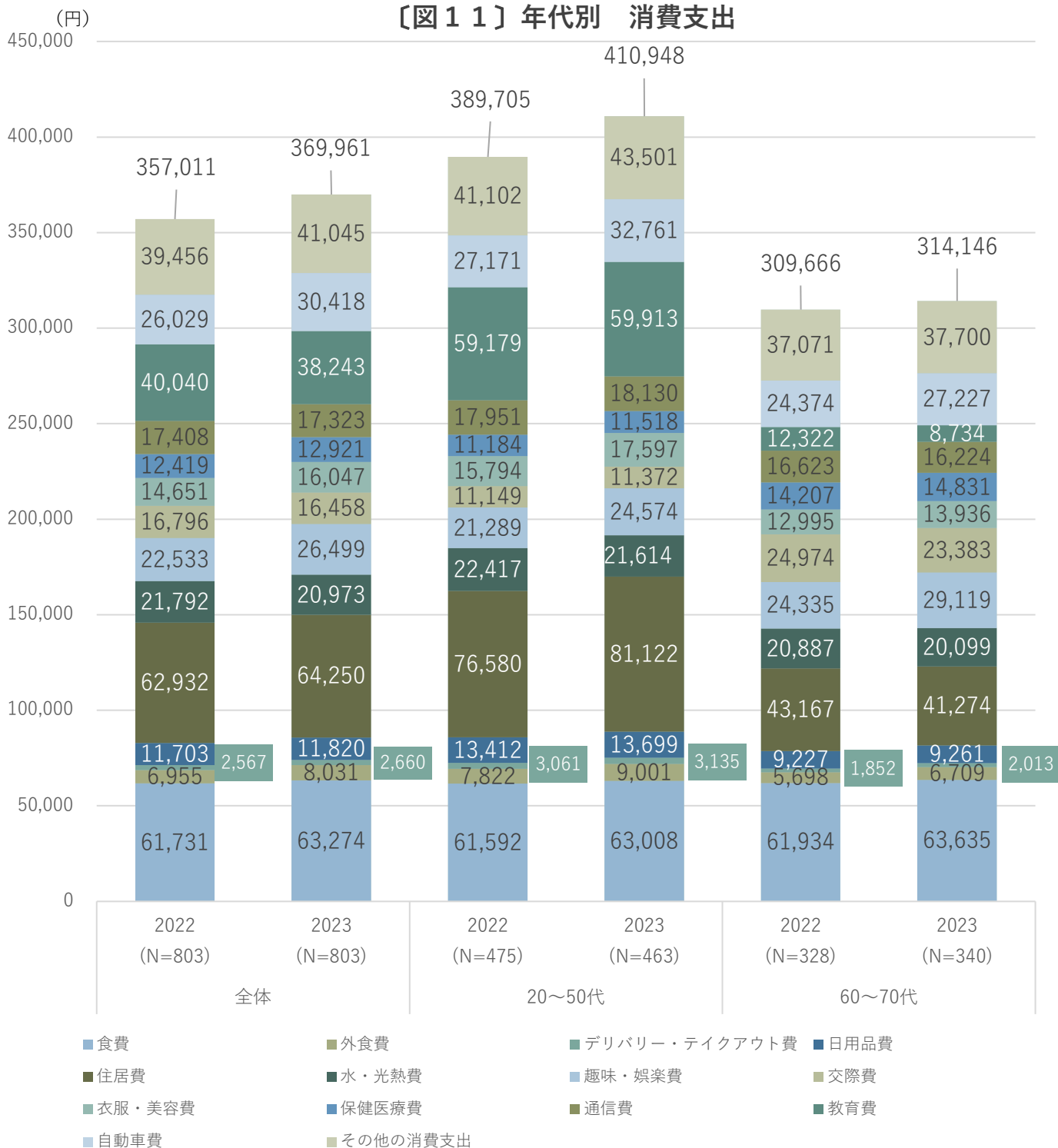
2021年からの継続モニターにおける消費支出の月平均額について、3年分を比較しました（図10）。2023年モニターの全体における月平均支出額は372,675円で、昨年より16,828円、一昨年と比べると37,619円増加しました。

年代別にみると、20～50代の支出は一昨年より53,666円増加しました。

支出を費目別にみると、全ての世代において多少の増減はありつつも、生活基盤に必要な「食費」「外食費」「住居費」などが3年間で増加していることがうかがえます。

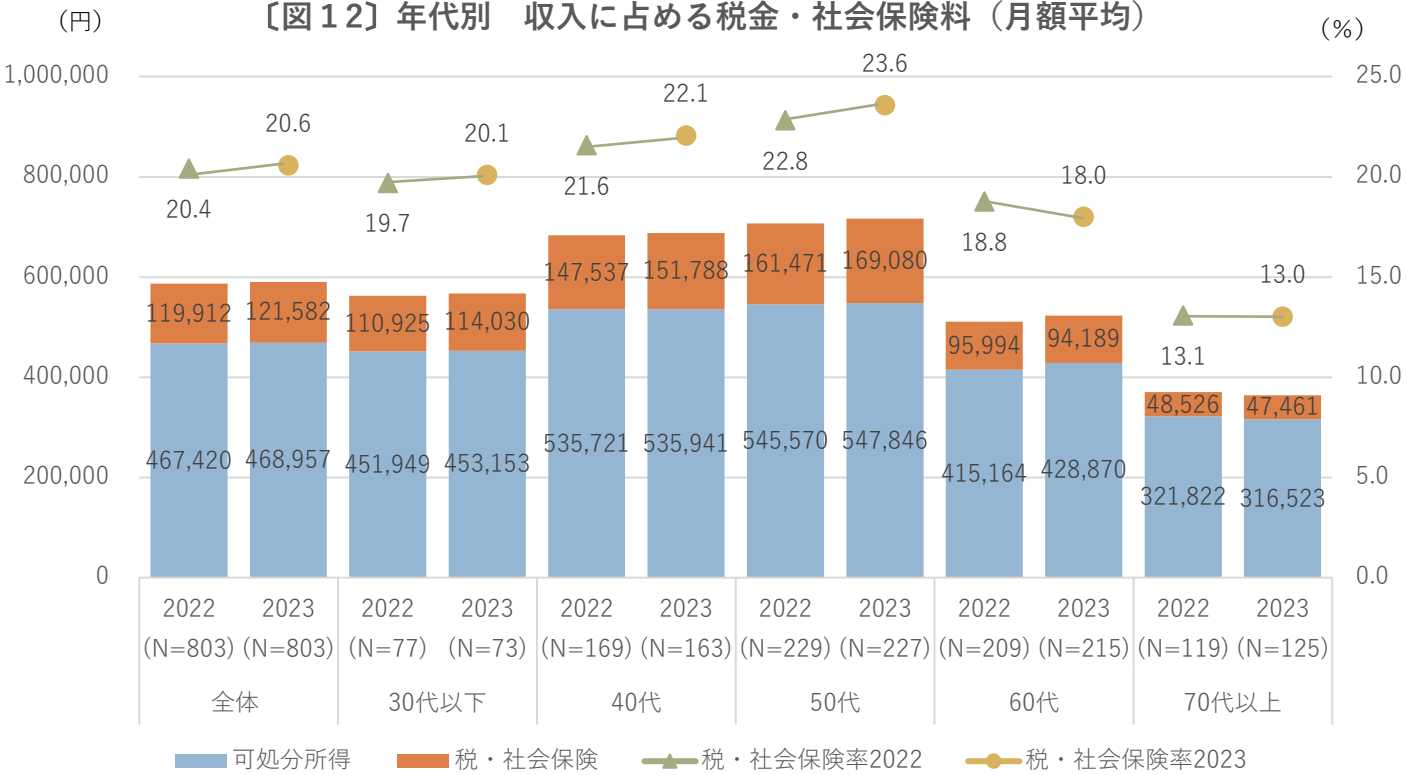


2022年からの継続モニターを対象に、より詳細な消費支出の2年分を比較しました(図11)。全ての世代において、「食費」「外食費」「デリバリー・テイクアウト費」「日用品費」「趣味・娯楽費」「衣服・美容費」「保健医療費」「自動車費」「その他」が増加しており、日常生活においてあらゆる負担が増していることがうかがえます。20～50代の支出額では、「住居費」「食費」「教育費」「自動車費」の順に多くなっています。なお、「住居費」では、住居のリフォームや修繕費など、大きな支出が全体を押し上げています。60代以上の支出額では、「食費」「住居費」「その他」「趣味・娯楽費」の順に多くなっています。

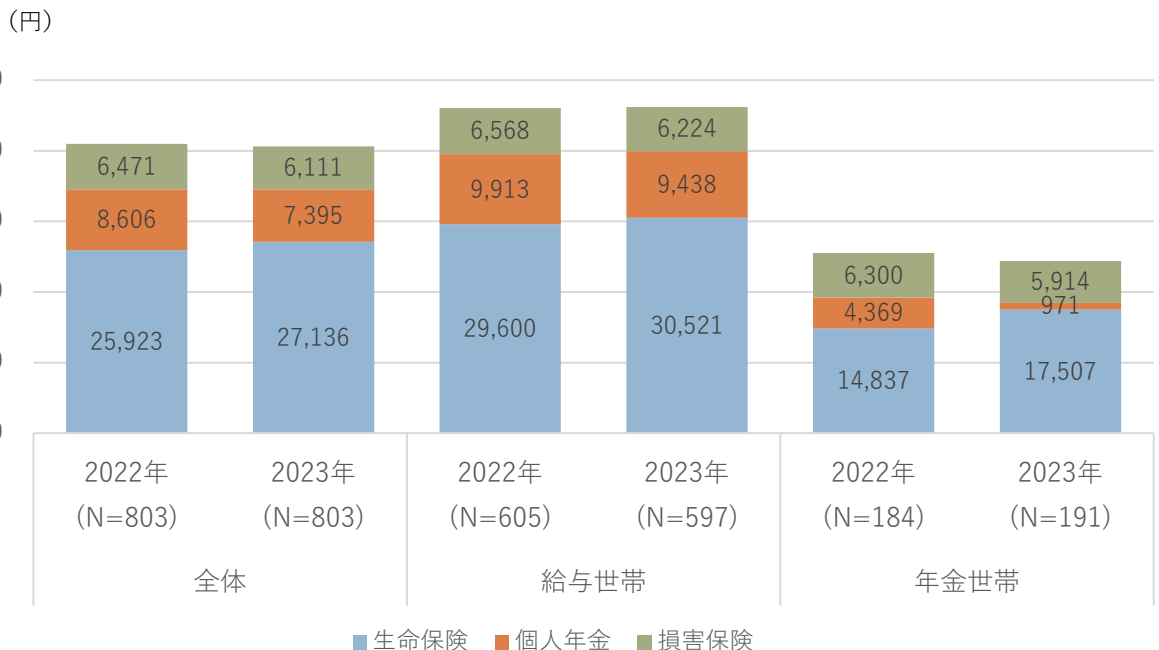


収入に占める税金（消費税除く）と社会保険料の月額平均を比較しました（図12）。2023年の全体平均では、121,582円と昨年より1,670円増加しました。年代別にみると、30～50代では昨年より負担割合が高まり、収入の20%を超え、50代では23.6%と最も高くなっています。私的保険料の月平均をみると、全体では昨年より358円減少し、ほぼ横ばいとなりました。内訳をみると、生命保険の費用が増加する一方、個人年金や損害保険が減少しています（図13）。

〔図12〕年代別 収入に占める税金・社会保険料（月額平均）



〔図13〕主な収入別 私的保険料比較（月額平均）



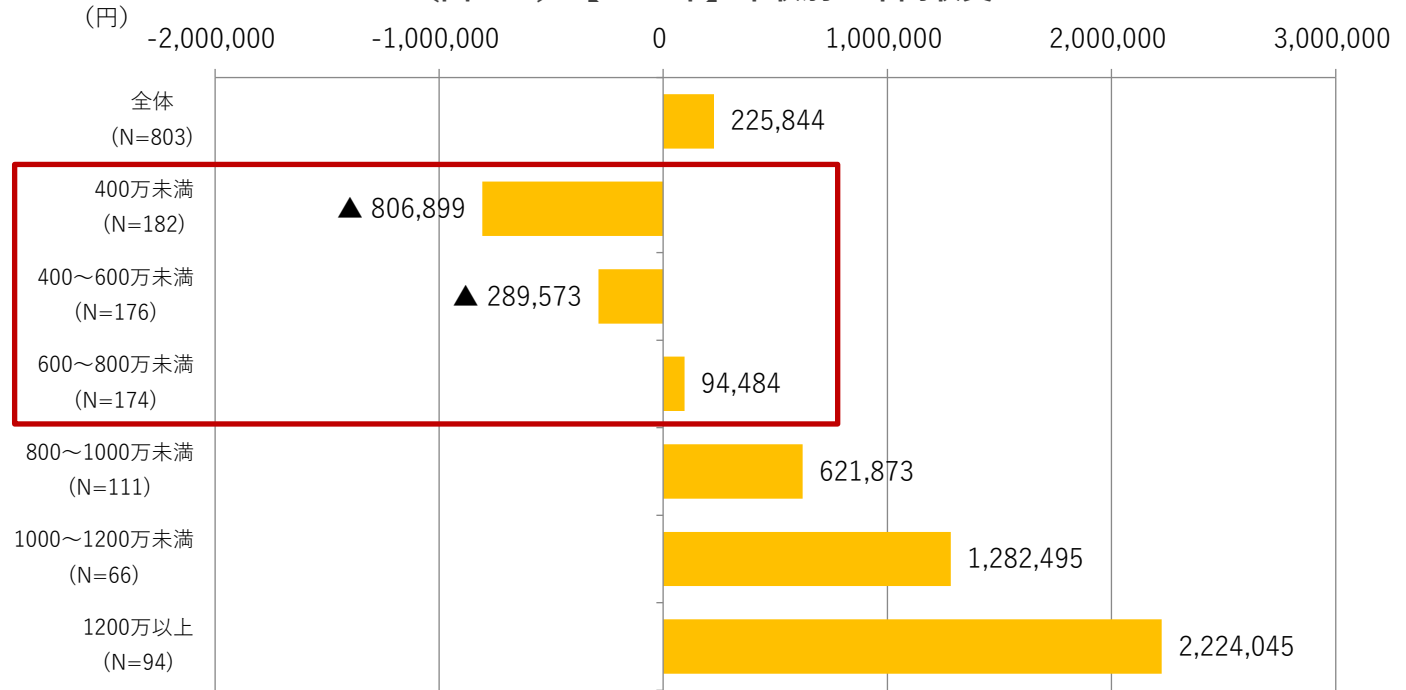
③収支

2023年の年間収支（図14）と、2022年の年間収支（図15）を比較しました。

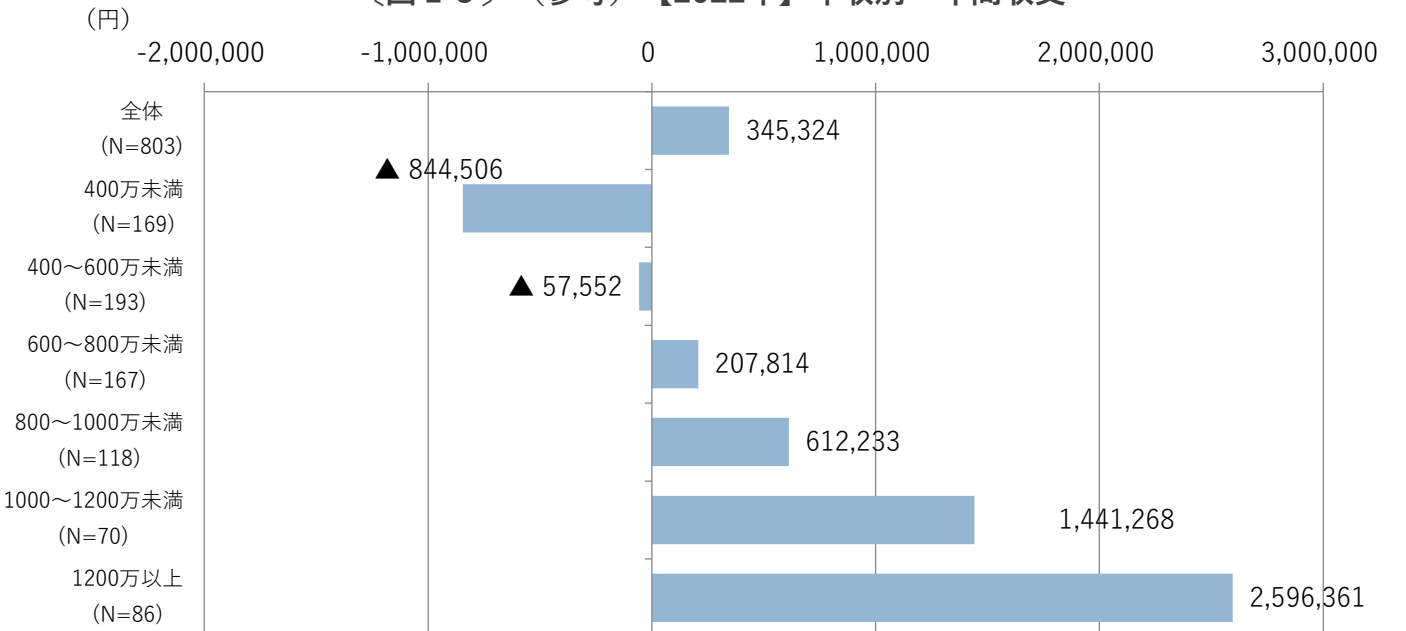
2023年の年間収支の全体平均は225,844円の黒字で、昨年よりも119,480円減少しました。世帯年収別に見ると、400万未満の世帯は多くが年金世帯（約70%）で▲806,899円と、昨年と比べて収支の赤字幅は縮小しているものの、依然として厳しさが続く収支となりました。400～600万円未満の世帯は▲289,573円と、昨年より大きく赤字となりました。600～800万円未満の世帯では94,484円と、昨年よりも黒字幅は減少しつつもプラスの収支となりました。

※不動産関連の大きな収入の影響を避けるため、「その他収入」を除いています。

〔図14〕 【2023年】 年収別 年間収支



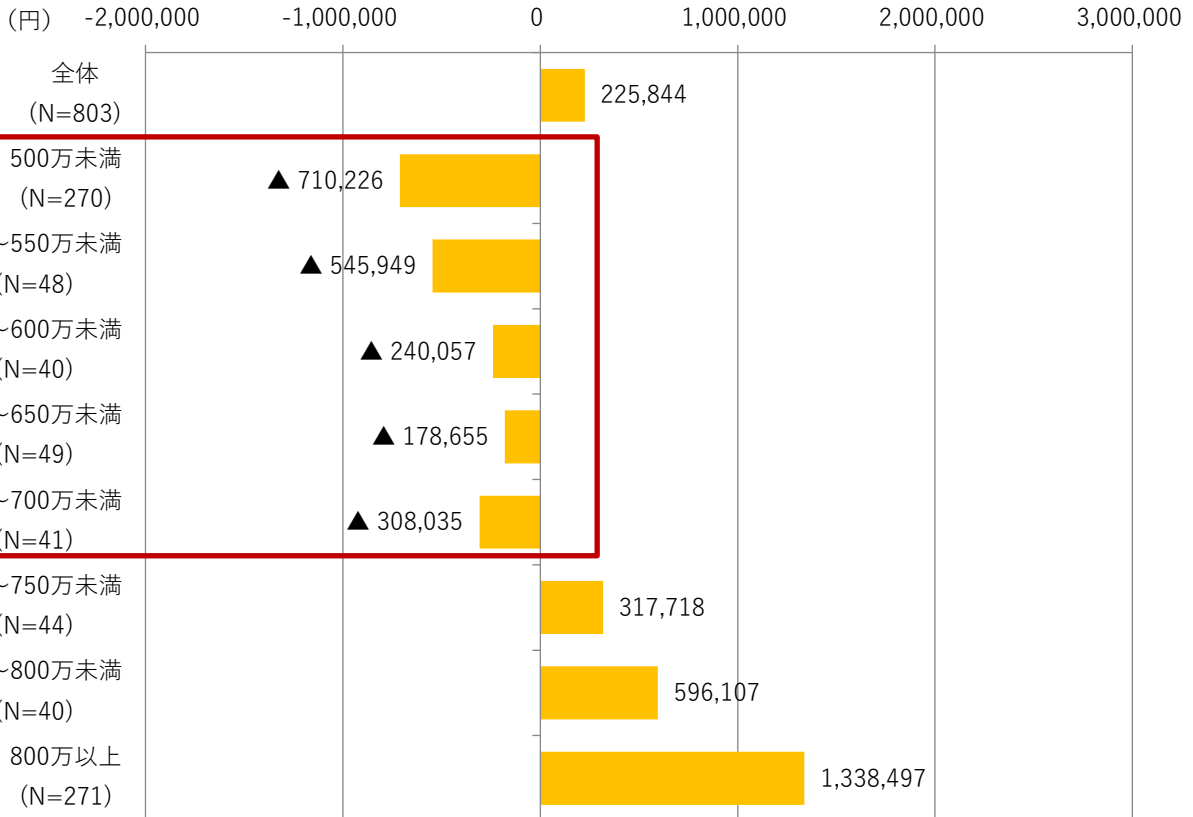
〔図15〕 (参考) 【2022年】 年収別 年間収支



前項で年間収支の赤字幅が大きかった世帯年収500～800万円未満について、50万円ごとに更に詳しくみました(図16)。世帯年収700万円未満の世帯では年間収支が赤字となり、年収が低くなるほど赤字幅は大きくなっています。収入が微増にとどまる中、物価上昇などによる支出の増加の影響の大きさがうかがえます。

※不動産関連の大きな収入の影響を避けるため、「その他収入」を除いています。

〔図16〕 【2023年】 年収別 年間収支



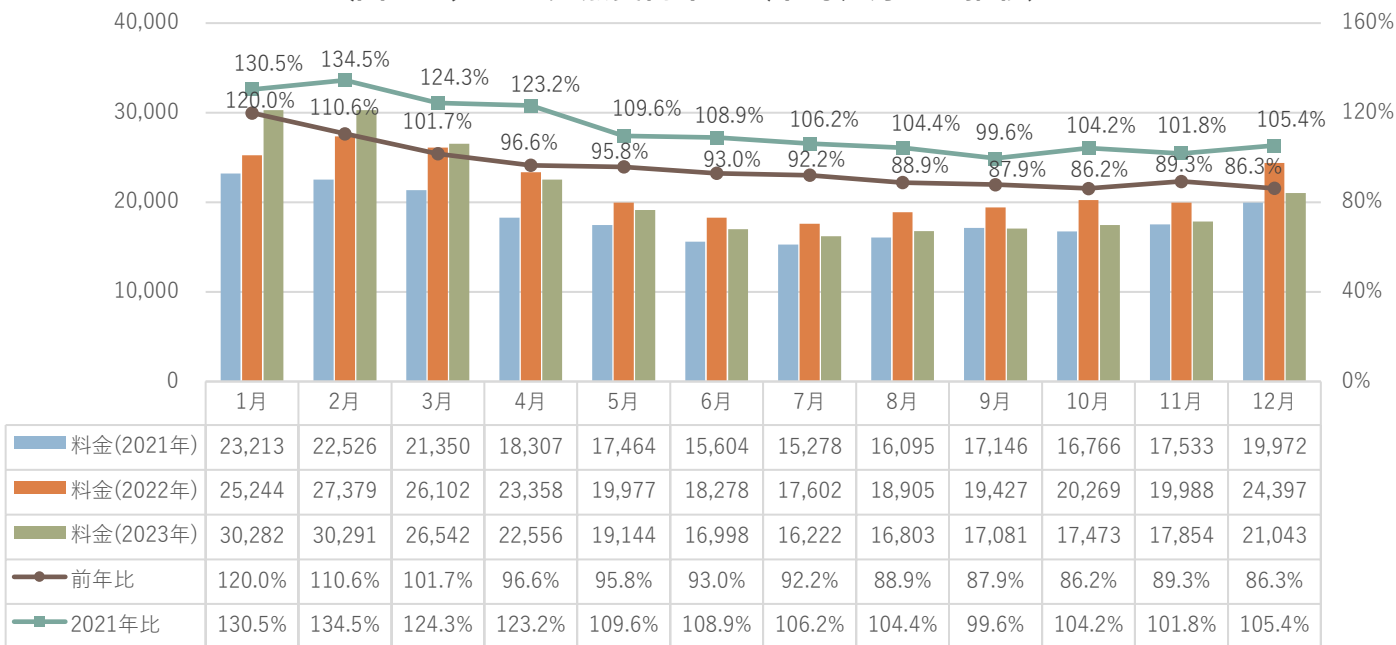
〔表3〕 【2023年】 年収別 年間収支

年収	年間収支 (円)
全体 (N=803)	225,844
500万未満 (N=270)	▲710,226
500～550万未満 (N=48)	▲545,949
550～600万未満 (N=40)	▲240,057
600～650万未満 (N=49)	▲178,655
650～700万未満 (N=41)	▲308,035
700～750万未満 (N=44)	317,718
750～800万未満 (N=40)	596,107
800万以上 (N=271)	1,338,497

3. 電気・ガスの料金

電気・ガス・水道などをあわせた水・光熱費を2021～2023年の3年分比較しました（図17）。前年と比べると、政府による補助（2023年1月使用分～2024年5月使用分）もあり、4月以降の費用は減少しています。なお、一昨年と比べると9月を除いて通年で費用が増加しています。

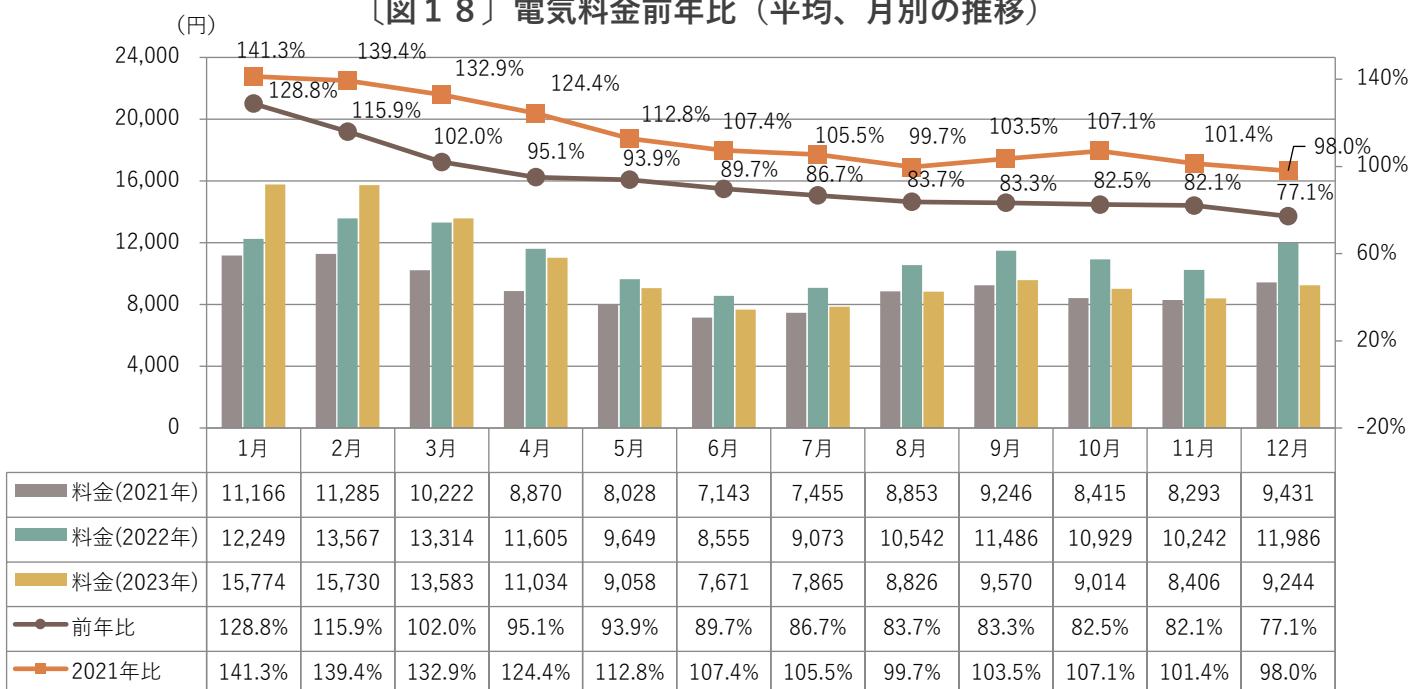
〔図17〕水・光熱費前年比（平均、月別の推移）



①電気

電気料金を、2021～2023年の3年分比較しました（図18）。前年と比べると、政府の補助によって4月以降の費用は減少していますが、一昨年と比べると全体的に上回る傾向にあります。

〔図18〕電気料金前年比（平均、月別の推移）

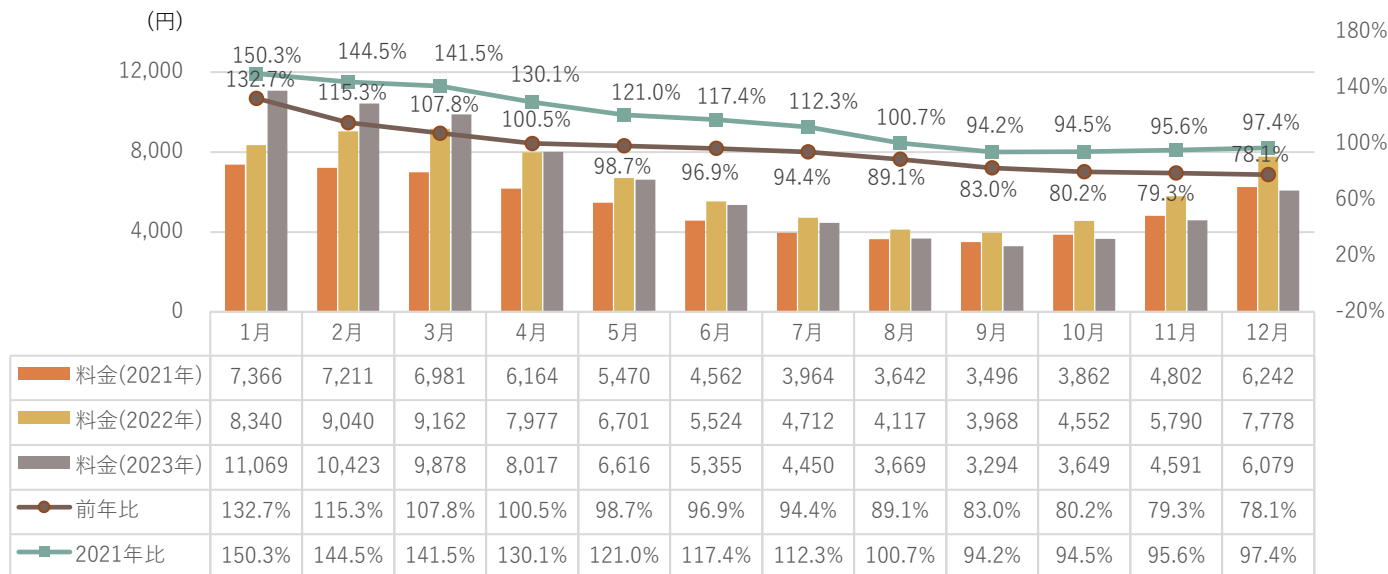


3. 電気・ガスの使用量と料金

②都市ガス

都市ガス料金を2021～2023年の3年分比較しました（図19）。特に1月～3月の料金は、原料である液化天然ガスの値上げによる影響もあり平均で1万円を超え、一昨年と比べると3,000～4,000円ほど増加しました。一方、8月以降は過去2年間と比べて減少しました。

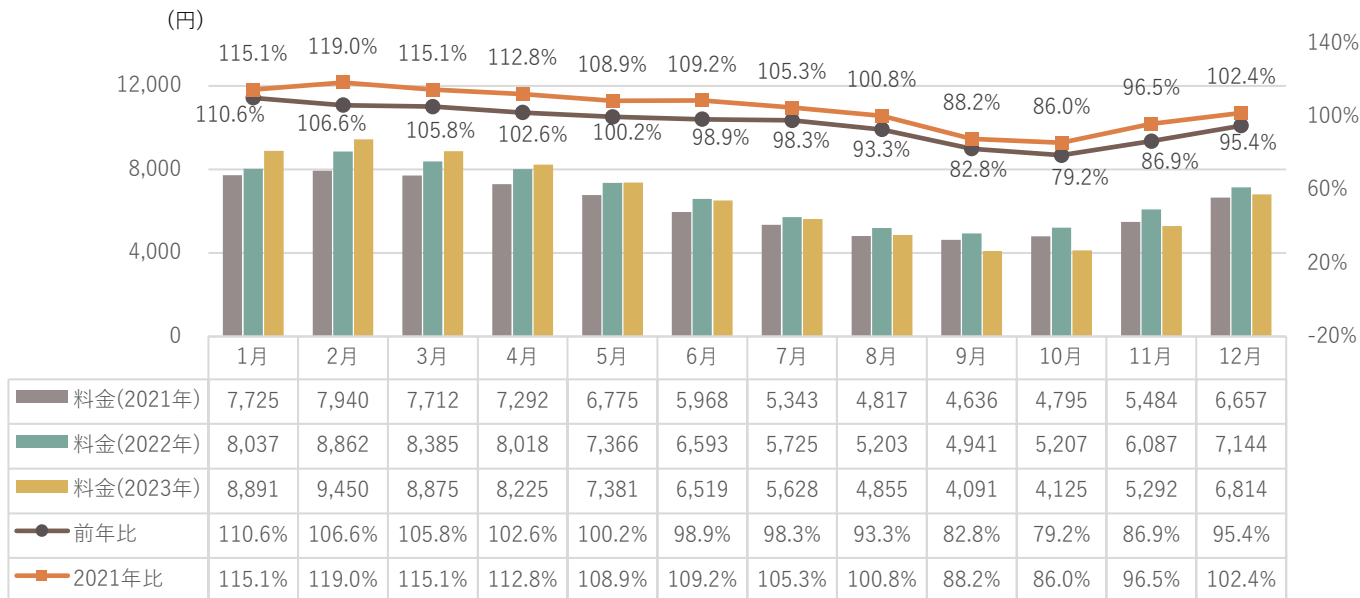
〔図19〕都市ガス料金前年比（平均、月別の推移）



③LPガス

LPガス料金を2021～2023年の3年分比較しました（図20）。1～5月の料金は、昨年、一昨年よりも増加していますが、9月～11月は昨年、一昨年よりも減少しました。

〔図20〕LPガス料金前年比（平均、月別の推移）



4. 消費税しらべ

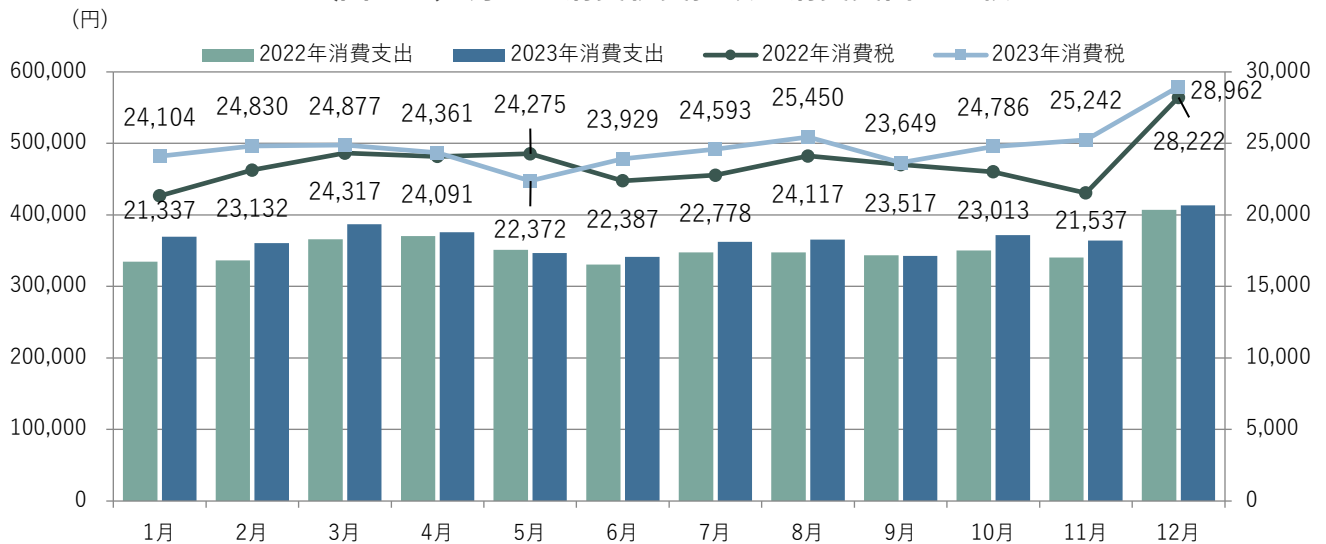
【「消費税しらべ」の概要】

「家計・くらしの調査」と並行して、「消費税しらべ」を実施しました。本調査は「家計・くらしの調査」の参加モニターを対象に、消費支出に占める消費税の金額を毎月提出いただく任意の調査です。2023年は697名の方にご協力いただき、有効回答629件について集計しました。

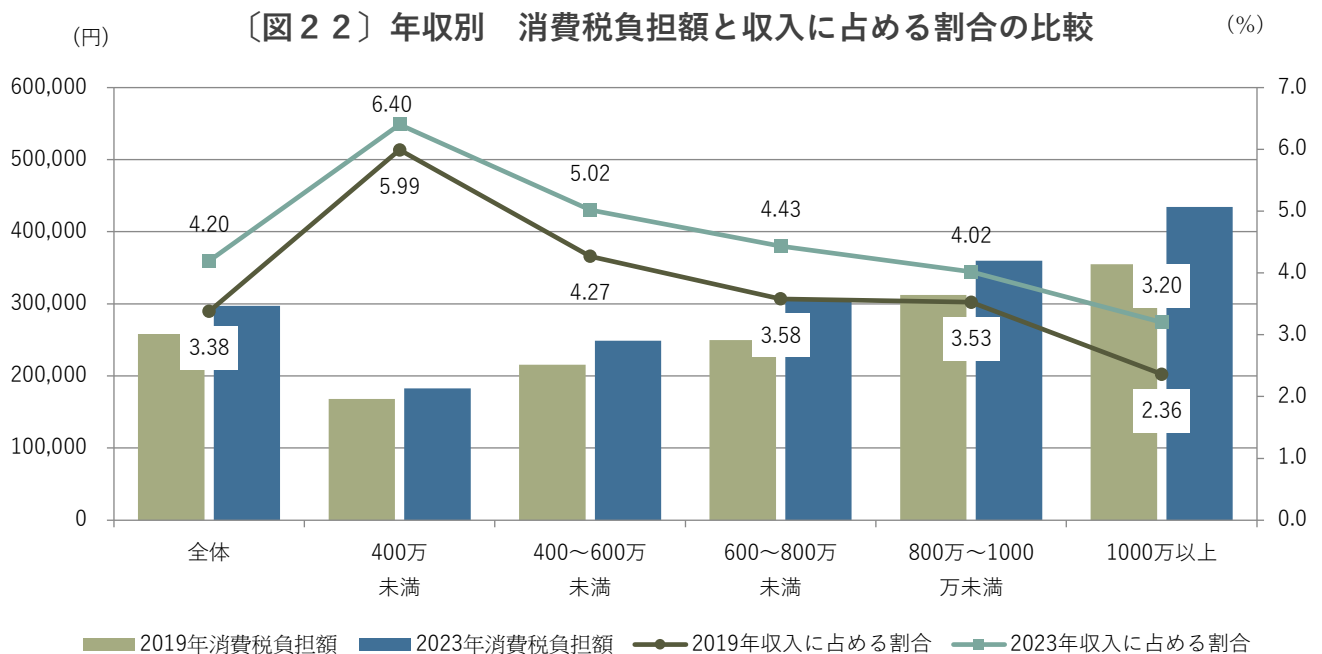
消費税の負担額を昨年と比べると、5月を除く全ての月で増加しました（図21）。特に支出の多い12月は、3万円近くの消費税額となっています。

消費税について収入に占める負担割合を、2019年10月の税率引き上げの影響と比較するため、2019年と2023年を比較しました。全ての年収階層で3%以上の増加がみられ、年収の階層が低い世帯ほど負担率が高く、特に400万円未満では、収入の6.4%を占めています。（図22）。

〔図21〕月別 消費税負担額・消費支出の比較



〔図22〕年収別 消費税負担額と収入に占める割合の比較



2023年モニターから届いた声

物価高のため、おせちは2段から1段に変更せざるを得ない。あとは何を節約すればいいのかわからない。(70代)

ミルク、オムツ代なども値上げして高く上がった。(20代)

お正月で交際費がかさみました。コロナの規制緩和も進み、外出をする機会も増えたので外食費も少し増えました。それに加えて相変わらずの値上げラッシュ。家計も日に日に締め付けられていきました。買い物に行く度に食料品の価格が上がっているの、精神的にもダメージが多く気持ちが落ち込みます。特に光熱費、卵の価格上昇が顕著です。いつまで耐えればいいのか先の見えない道のりです。(30代)

愛猫の医療費、クリスマス、お正月用の食費や交際費に多くの出費がありました。大きな震災があったり、世界では紛争があったり、自分たちは恵まれているのだと思いつつも、やはり値上げラッシュは厳しくて、スーパーの陳列棚の前で長考してしまいます。(60代)

物価高騰の中でも食料品の価格が毎月のように値上がりしてく中、何とか節約していかないと、という思いでやりくりしていますが、やはり支出額はあまり減りません。そして光熱費。電気代が我が家の中で史上最高値になり、ますます節電を意識してしまいます。寒波の時も極力厚着や短時間かつ低温でのエアコン使用で、はたしてどのくらい効果があるのかわかりませんが、引き続き厳寒の2月も頑張ります。(40代)

あっという間に11月。今年も終わってしまいます。夏から母親の体調が崩れ、年取った両親の週末介護が本格的に始まりました。自分自身も歳をとり、体の衰えも感じると、この先、生きていくことの希望が細っていくのが辛いです。世の中も暗いことばかりで、気持ちが減入ります。(50代)

カーブスで運動を始めて8か月になる。月会費6,820円、一年間で81,840円になる。国民年金生活者には少なくない出費である。しかし、筋肉がつき、日常生活でやれることが増えてきて嬉しい。少しの蓄えをしておいて良かったと思う。(80代)

今月は外食もデリバリーもなし、全て自炊を心掛けました。漬物もぬか床を買って来て自分でつけたものを食べました。プランター栽培をしたきゅうりが食べれるようになり、そのまま食べたり、漬物にしたりしました。みずみずしくて美味しかったです。メロンとスイカも花が咲いてきたので受粉しています。メロンは実をつけました。これからが楽しみです。(50代)

今月も食料品、日用品の値上げが続き、なるべく節約を心掛けました。今月は今年分のガス代支援金がまとめて引かれて、だいぶ負担が少なく助かりました。これからの季節、電気料金や燃料代の負担が大きくなるので、できる限り支援金制度続けて欲しいです。(70代)

雇用保険料金が上がったんですね。値上げばかりでがっかりです。(50代)

ついに格安携帯に乗り換えました。以前と比べ解約料も無く、手続きも簡単になりスムーズに出来ました。少しでも節約になればと思います!(30代)

水回りのリフォームの際に、照明全てをLEDに替えました。玄関と食卓もLED電球に交換しました。一方、タッチレス水栓2か所とウォッシュレットと食洗器を導入。絶対に電気使用量が増える!と思っていましたが、15~30%減となっています。LED凄い!リビングや居室も、折を見てLED照明に替えていこうと思います。(60代)

何もかも値上がりし続ける。下がるものは何もない。節約するものももう残っていない。暮らしていけない。(50代)

コロナ感染症の制限もなくなり4年前の生活に戻りつつあるが、マスクや食事時の注意、社会的距離はある程度保った状態で続行されている。施設の入居者に会いに行くことも解禁されたので早速会いに行くことコロナ前は80歳代だったのに90歳になりましたとお達者でした。恐れ入りました。(60代)

義母が今年二度目の入院になりました。今回は自宅へ戻ってくるのは難しい状況です。介護もいつまでも続く訳ではないですね。目の前の課題がなくなると自分自身の老後がせまってきます。物価高ですが食費は減らさず、健康維持をこころがけています。(70代)

食料品や日用品の値上げがじわじわと真綿で首を絞めるように効いてきます。店頭で値札を見るのが怖くなってきました。

大手は賃上げの便りが続々と届いていますが中小はその波にも乗れず現状を漂っています。いつまで浮いていられるのか、とにかく荷物を減らして重さを軽くすることしかできません。節約あるのみです。頑張ります!!(30代)

電気代が倍近くになっていてびっくりした。節電を意識し始めた。(20代)

今月はプロパンガス料金が「安いな〜」と思ったら、県より料金補助が約2,000円ほどありました。本当に助かります。牛乳も300円近い金額となり、コーヒーに入れる量を半分にしたりと細々と節約しております。自己防衛策として、お米や調味料、パンや牛乳など定番なもの以外は買わないようにしています。新商品や目新しい食材・便利商品は、口に合わなかったり残ってしまうことがあるので、かごに入れるのを我慢しています。たまには、虎印の羊羹が食べたいです。(40代)

もう異常ともいえる暑い夏でした。晴れの国岡山は、年中朝から太陽が照り付け、夏場の照り返しは強烈です。初夏に電気代1万円突破で驚いた私は、改めてこの夏のエネルギー対策に取り組みました。まず中電の節電プランに加入し、また自分の生活の中で、他所でもできる仕事を選び出し、近所の公共施設や大学の学習室・無料集会所・女性センター等々を利用して、楽しく節電に努めました。(三分の一に減額)友達とも話せるし、気分も変わり一石二鳥、どこに住むかを決めるとき、こうした視点が必要な時代ですね。(80代)

電気代・ガス代の高騰が気になり、1年前の2022年1月と比べてみました。電気・ガス共に使用量は昨年より減っているのにもかかわらず、金額は大幅にアップしていました。それぞれの単価を単純に比較したところ、電気代は約1.18倍、ガス代は約1.43倍になっています。昨年の使用量を今年1月の使用量に換算して比較したところ我が家の場合、電気代が3,060円、ガス代が5,050円相当高くなったことがわかりました。(50代)

2023年モニターから届いた声

不妊治療をしているため、月々の医療費が50万を超えてしまう。(30代)

乳がんが見つかり、10月から抗がん剤治療が始まりました。しこりもなく自覚症状もない状況で、健診で見つかりました。健診を受けてなかったらと思うと、とても怖いです。そして、医療費限度額はありますが、今までにはなかった出費が毎月続きます。健康のありがたさを、改めて家計簿を通じても思い知らされています。(60代)

夫婦で医療脱毛をしています。現在の見た目と手入れの楽しさ、そして将来介護になったときのためにと自己投資しました。(30代)

今月は健保から昨年10月の高額医療費の補助金が支給されました。病気になるといった多額の療養費がかかりますが、実質はほとんどかからないことがわかりました。健康保険制度に感謝です。(60代)

猫の医療費にお金がかかっています。動物は人間と違って、医療費がかなりかさみますね。(30代)

息子家族5人とお嫁さんのご両親と9名で沖縄旅行へ行きました。孫の学校のお休みということでゴールデンウィークの5月3日から5日までの日程でした。コロナから解放という事で大勢の観光客の真っ只中、費用も随分わかりましたが楽しい思い出となりました。(70代)

4年ぶりにお祭りが活気づき、子どもたちはたくさんのお屋台を見て大喜び！今まで自粛していた分、少し奮発してお祭りの雰囲気を楽しみました。良い思い出ができました。(40代)

コロナが少し落ち着きやっと海外旅行へ出かけました。4年ぶりかな！コロナが落ち着いたら台湾へ出かけたいと思っていて実現！8年ぶりです。19歳の時初めて海外の地に足を踏み入れたのが台北。30年間台湾の変化を夫婦で見てきました。感慨深いです。中国との関係が心配です。また台北を旅できるとうれしい！(60代)

中古のアップライトピアノを購入しました(44万円)。母子でピアノ教室に行きはじめ、とても楽しいです。(40代)

子どもの中学入学準備にお金がかかってびっくり！普通の公立中なのに一式そろえると10万円ほどかかります。(40代)

毎日の仕事が疲れて、年齢的にフルタイムがキツイですが、教育費を払うんだ！と思いながら毎日出勤しています。教育費がしんどいです。(50代)

孫が東京の私立大学に合格、お祝いに50万円を送りました。入学金、学生マンションの4月費用など4月だけで220万円以上かかるらしい。おめでたいけど大変です。親の資産に関係なく、誰も大学で学べるような制度にしてほしいです。(70代)

無事、2人の子供たちの進学先が決まりホッとしていたのですが、一人一台端末が必須ということでパソコンとタブレット(いずれもリンゴマーク社製)を買いました。真面目に勉強にだけ使ってくれば良いのですが…。部屋からはゲームの音が。「操作に慣れているのかな」と思うことにしています。(40代)

コロナが2類から5類になり季節も爽やかな初夏で旅行支援を利用して旅行をして楽しんだのですが、結果、教養娯楽費が目をもくような数字が並んでいます。でもやっぱり旅行はいいです。何か体の細胞が入れ替わるような気持ちになり、また明日から頑張るぞという気持ちになります。日本の行ったことのない地方にまだまだ行きたいです。後何年いけるかなあです。(80代)

やっとコロナも5類へ変わりますね。ますます娯楽費が増えることを苦にしながらも、通常の生活！？へ戻ることを歓迎したいと思います。(50代)

旅行費用2人分で40万6千円を払いました。2年前に同じような旅行をしたときより3割も上がっています。コロナが5類になり観光客が増えたのと物価高のせいでしょうね。前回の3割増し以上に楽しむことができます。(70代)

4年ぶりに幼稚園の運動会が1日開催でした。子供の大好きなシャインマスカットも今年は比較的安く手に入り、サンドイッチ、いなり寿司など頑張ってお重を作りました。副団長をつとめ、リレーでも抜かし、親も楽しめ、とても成長を感じられる最高の思い出になりました。(30代)

私立高校に合格しました。制服、教科書、入学金で、1週間で1か月の給料が飛んでいきました。やはり教育費はかかるなあ実感。でも頑張って勉強してほしいです。(40代)

3月は何と言ってもWBCに勇気を貰いました。野球の事も選手の名前もよく知りませんでしたが、心を揺さぶられました。感謝と感動の日々でした。終わってからグッズも買ったので、少し出費です。(60代)

中高生になった孫達へのお年玉もどき「お盆玉」と、遠方から帰郷した娘達への交通費の援助金で交際費がかかりました。でも良いんです。迎えた駅で「ただいま」と手を振って飛び込んで来る元気な孫達の姿や、よどんでいる家の中に異世代が持つエネルギーが注入され、パワーアップで自ら輝いていく家族を見た事が嬉しかったです。(70代)

交際費はお中元。そろそろこの風習も考えたほうがいいのかと思ったり、一年に数回くらいはお付き合いとして大切かと思ったりです。(60代)

ふるさと納税をしました。今年も防災グッズを返礼品に選びました。非常用トイレなど使う機会がないのに越したことはありませんが、キャンプの時にも使ったりしています。(40代)

結婚50周年記念旅行をした。子供たちからのプレゼントです。白鷺城と桜がため息つくほど見事だった。お互い喧嘩もしたけど長持ちしたね。生い先みじかいこの先もよろしく願います、と目で語り合った。(70代)

ウクライナに続いてガザの惨状！連日のテレビ画面を直視するに堪えられません。日を追って増えていく死者の数。その一人ひとりに家族がいて、親しい人がいて、未来に繋がる人生があったはず。あまりにも悲しい現実！あゝ、愚かな人間達よ、一刻も早く戦いをやめるべし！(80代)

今年の漢字が「税」になる程、世間では税金を意識した一年でした。皆さん、出来るだけ節税になるようにふるさと納税やIDECO、頑張っているらしいですね。来年は私もNISAに挑戦です。(60代)

5. 集計表（総平均）

	30代以下	40代	50代	60代	70代以上
給料（世帯主）	347,978	416,971	461,366	234,217	27,687
給料（世帯主の配偶者）	88,857	113,004	94,848	73,459	13,995
賞与（世帯主）	80,161	99,663	119,802	32,559	1,752
賞与（世帯主の配偶者）	19,256	21,219	13,615	4,708	1,298
年金（世帯主）	2,340	270	3,688	98,262	184,716
年金（世帯主の配偶者）	755	0	1,700	16,909	64,435
年金_私的(世帯主)	48	0	4,225	18,619	14,241
年金_私的(世帯主の配偶者)	9	17	1,054	5,828	5,559
その他の収入	35,886	38,556	34,303	46,427	50,980
収入計	575,290	689,699	734,602	530,989	364,663
所得税（世帯主）	17,067	22,205	33,945	13,156	2,709
所得税（世帯主の配偶者）	3,553	3,159	2,780	1,200	599
住民税（世帯主）	15,833	21,233	26,532	14,291	4,849
住民税（世帯主の配偶者）	3,681	3,815	3,265	1,973	1,052
その他の税金	5,359	6,762	9,195	12,019	11,082
税金計	45,493	57,174	75,717	42,639	20,290
健康保険（世帯主）	19,952	28,876	31,619	22,859	19,723
健康保険（世帯主の配偶者）	4,135	6,179	4,794	4,520	6,751
厚生年金（世帯主）	37,293	44,677	46,633	20,158	304
厚生年金（世帯主の配偶者）	8,329	9,236	6,991	4,572	353
雇用保険（世帯主）	2,049	2,342	2,635	1,143	62
雇用保険（世帯主の配偶者）	488	555	366	305	61
国民年金（世帯主）	593	566	903	123	4
国民年金（世帯主の配偶者）	227	494	837	1,178	0
国民年金（子）	0	1,398	4,251	441	257
社会保険料計	73,066	94,324	99,029	55,299	27,515
生命保険	27,827	33,679	29,553	27,504	13,077
損害保険	5,199	5,634	5,876	7,340	6,431
個人年金ほか	6,314	10,354	12,636	4,739	92
私的保険料計	39,340	49,668	48,065	39,583	19,600
食費	56,875	65,266	63,908	63,970	64,538
外食費	9,259	9,337	8,651	7,477	5,558
デリバリー・テイクアウト費	3,605	4,092	2,494	2,283	1,478
日用品費	17,305	13,764	12,879	10,704	7,942
住居費	69,022	68,952	58,547	23,383	10,093
住居費(上記以外)	17,805	17,081	21,582	26,513	25,351
住居費(計)	86,827	86,032	80,129	49,896	35,444
電気	10,283	11,300	10,683	10,143	9,704
ガス	4,597	4,759	5,162	4,825	4,399
水道	4,630	5,091	4,484	4,217	3,993
水・光熱費その他	1,039	1,425	1,054	1,410	1,185
水・光熱費(計)	20,550	22,575	21,384	20,595	19,281
趣味・娯楽費	20,511	22,032	29,851	30,207	29,717
交際費	6,926	9,310	15,734	20,919	28,039
衣服・美容費	12,682	16,751	19,314	15,467	11,525
保険医療費	9,163	12,272	11,917	15,174	14,194
通信費	12,834	18,066	19,197	17,584	13,893
教育費	30,779	76,688	59,512	13,517	2,534
自動車費	27,464	40,582	32,448	31,628	22,060
その他の消費支出	36,587	42,145	45,778	43,107	29,883
消費支出計	351,368	438,911	423,195	342,527	286,085

7. 調査票



日本生活協同組合連合会

家計・くらしの調査 ◆7月分◆

こちらは「家計・くらしの調査」の調査票のページです。
 費目をご入力の上、「確認画面へ」ボタンを押してください。
入力の締め切りは8月20日です。
 ※*は必須項目です。
 ※収入・支出が発生しなかった費目については「0」をご入力ください。
 ※入力に困った時は『マニュアル』、または『費目内容一覧』をご参照ください！
[○「家計・くらしの調査」マニュアル](#) ←こちらをクリック
[○「家計・くらしの調査」費目内容一覧](#) ←こちらをクリック

収入		
給料	世帯主*	<input type="text"/> 円
	世帯主の配偶者*	<input type="text"/> 円
給与	世帯主*	<input type="text"/> 円
	世帯主の配偶者*	<input type="text"/> 円
年金(公的)	世帯主*	<input type="text"/> 円
	世帯主の配偶者*	<input type="text"/> 円
年金(私的)	世帯主*	<input type="text"/> 円
	世帯主の配偶者*	<input type="text"/> 円
その他の収入*		<input type="text"/> 円
収入計		0円

税金(直接税)		
所得税	世帯主*	<input type="text"/> 円
	世帯主の配偶者*	<input type="text"/> 円
住民税	世帯主*	<input type="text"/> 円
	世帯主の配偶者*	<input type="text"/> 円
その他の税金*		<input type="text"/> 円
税金(直接税)計		0円

社会保険料		
健康保険 ※介護保険も含む	世帯主*	<input type="text"/> 円
	世帯主の配偶者*	<input type="text"/> 円
厚生年金	世帯主*	<input type="text"/> 円
	世帯主の配偶者*	<input type="text"/> 円
雇用保険	世帯主*	<input type="text"/> 円
	世帯主の配偶者*	<input type="text"/> 円
国民年金	世帯主*	<input type="text"/> 円
	世帯主の配偶者*	<input type="text"/> 円
	子*	<input type="text"/> 円
社会保険料計		0円

私的保険料		
生命保険* ※定期保険、養老保険、終身保険、医療保険、がん保険、学資保険など		<input type="text"/> 円
損害保険* ※CO・OP火災共済、火災保険、地震保険、自動車保険、旅行保険など		<input type="text"/> 円
個人年金ほか*		<input type="text"/> 円
私的保険料計		0円

消費支出		
食費* ※外食・デリバリー・テイクアウト費を除く、惣菜を含む		<input type="text"/> 円
外食費*		<input type="text"/> 円
デリバリー・テイクアウト費*		<input type="text"/> 円
日用品費*		<input type="text"/> 円
住居費*	家賃・住宅ローン* ※管理費/修繕費(定額)含む	<input type="text"/> 円
	上記以外* ※家具・家電、リフォームなど	<input type="text"/> 円
水・光熱費*	電気*	<input type="text"/> 円
	ガス*	<input type="text"/> 円
	水道*	<input type="text"/> 円
	その他*	<input type="text"/> 円
趣味・娯楽費*		<input type="text"/> 円
交際費*		<input type="text"/> 円
衣服・美容費*		<input type="text"/> 円
保健医療費*		<input type="text"/> 円
通信費*		<input type="text"/> 円
教育費*		<input type="text"/> 円
自動車費*		<input type="text"/> 円
その他の消費支出*		<input type="text"/> 円
消費支出計		0円

◆貯蓄・投資に回した金額があれば教えてください。ない場合は「0」とご入力ください。

貯蓄・投資	
貯蓄・投資額* ※貯形貯蓄、NISA、積み立てなど	<input type="text"/> 円

今月の家計についてひとこと	
1つの項目で100万円を超える大きな支出があった場合は、その用途を具体的に記入願います。	<input type="text"/>

月次報告書についてひとこと	
月次報告書へのご意見・ご感想がございましたらご記入ください。 ※月次報告書とは…毎月回答頂いた結果をまとめた報告書。過去の報告書はこちら(家計調査の取り組み)。	<input type="text"/>

消費税しらべ(任意回答)	
◆こちらは「家計・くらしの調査」とは別の調査で、任意回答です。	
◆以下の方法で金額を算出し、「消費税額」の欄に記入してください。 ・消費支出から消費税が課税/非課税となる支出で分ける ・消費税がかかる品目から、軽減税率対象の品目(A)と、非対象の品目(B)に分けて支出金額を集計 ・(Aの支出金額合計 ÷ 108) × 8 = Aの消費税額 ・(Bの支出金額合計 ÷ 110) × 10 = Bの消費税額 ・Aの消費税額 + Bの消費税額 = 消費税額 ※小数点が入りできないため、四捨五入して整数でご回答ください。 ※詳細は「手引き」の16ページを参照ください。	
◆「消費税しらべ」に12ヵ月連続でご協力いただいた方には、別途500円の図書カードをプレゼントいたします。	
消費税額	<input type="text"/> 円

確認画面へ